

「男女共習における主体的、対話的で深い学びを促す『AARサイクル』と『ゲーム中心の指導アプローチ』の活用と支援の研究」

1 研究仮説

- (1) 男女共習の授業において『AARサイクル』と『ゲーム中心の指導アプローチ（GBA）』の理論を活用することで、『主体的・対話的で深い学び』を促し、性差や技能の差に関わらず全員が主体的に運動に取り組む、豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育むことができるだろう。
- (2) ICTを活用することにより、自身の技能の向上や、授業に取り組む姿勢、仲間との関わり方をより客観的に振り返り、改善することができるだろう。

2 取組内容

- (1) 仮説1に対して
 - ①授業の流れ（図1）を保健体育科職員全体で共有し、毎授業で見通し(Anticipation)を生徒に示し、行動(Action)を確認しながら授業を実施することとした。
 - ②単元開始時オリエンテーション形式で事前に「AARサイクル・GBA」に関する説明を行ってから授業を開始した。
- (2) 仮説2に対して
 - ①各グループに一台タブレットとプロジェクターを用意し、自分たちのプレーを随時分析できるようにした。
 - ②Google Classroomにグループの学習目標（見通し）と振り返り(Reflection)を入力し、全体で共有できるようにした。
 - ③2週間に1回教科会を開催し、授業の進捗状況の報告やICTの利活用に関する先進的な取り組みに関して情報共有した。

松戸市立松戸高等学校

全校生徒数 951名

学級数 24学級

教職員数 107名

3 工夫したこと

- (1) 主体的・対話的で深い学びを促すために「安全安心の場を作ること」、「アダプテーションルールの活用」、「用具を簡易化(例えば柔らかいボールを使用するなど)すること」、「態度目標・内容目標を明示して各学習目標に対して振り返りを行うこと」を毎回の授業において実践した。（図1）
- (2) グループ用のワークシートには自分たちの課題を修正するためのゲームルールの設定、GBAの流れ、球技の分析の観点とポジションの役割、テクニックの構成要素等、生徒が球技の特性を理解しやすいように配慮したり、体育の見方・考え方を働かせられるような参考資料を提示した。

4 成果

教員側が男女共習やAARサイクル、ゲーム中心の指導アプローチ、ICTの利活用に関して積極的に研修をし、毎回の授業において実践することができた。生徒の振り返りの内容や各授業アンケートを分析すると7割～9割以上の生徒が肯定的な回答をしており、研究のねらいは概ね達成できた。（図2、図3）

5 課題

授業アンケートより男女共習やAARサイクル、ゲーム中心の指導アプローチに関してはまだまだ生徒に理解されていない部分もあった。今回の実践を始点に教員側が最新の指導理論を学びながら実践を積み重ね、生徒と共に新たな授業スタイルを創造することが必要である。

【場の工夫】

単元の序盤はバドミントンのコートを活用し、スモールサイドゲームを取り入れた。



【ICTの活用】

各グループに一台タブレットを用意し、学習目標の入力やプレーの分析に活用した。

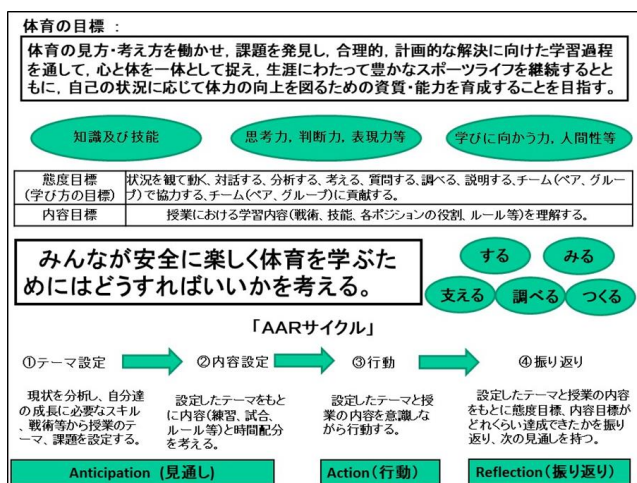
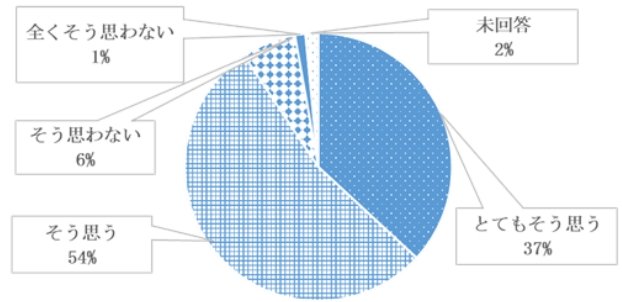
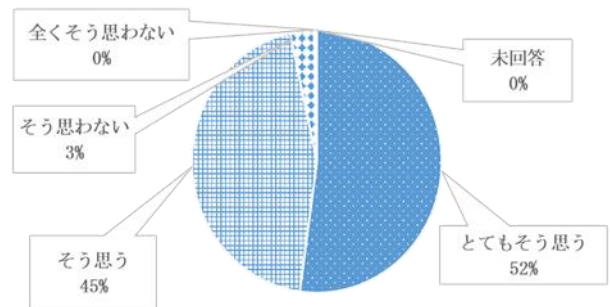


図1 授業の流れ



- 考えて行動に移すことができるから。
- 自分たちで考えて動くことができるから。
- 実践し、振り返ることは大切だから。
- △ AARサイクルの意味がよくわからないから。
- 計画的に授業を行うことができるから。
- 目標をたてることは大事だと思うから。
- 自分のやるべきものが明確になるから。
- 改善点を把握することができるから。
- △ AARサイクルをいまいち理解できてないです。
- 個々の技術力向上につながると思うから。

図2 「AARサイクル」を取り入れた体育の授業は体育の学習の向上に役に立つと思いますか？



- 自分たちで考えてゲームすることができるから。
- 実践することで気づけることがある。
- どんどん実践することで理解が深まると思うから。
- 実践型の試合などを体験することができるから。
- 実践的で理解しやすいと思うから。
- ゲームを楽しむことができるから。
- 練習したことを実践できるから。
- ゲームをやるとルールがわかりやすいから。
- 実際にやった方が理解しやすい。
- 実践するよりはやく能力が向上するから。

図3 「GBA (ゲーム中心の指導アプローチ)」を取り入れた体育の授業は体育の学習の向上に役に立つと思いますか？

※下側は質問に対する回答の理由を10行ダイジェスト(文書中の重要な文のみを抜粋して表示)でまとめたもの。

参考：<https://textmining.userlocal.jp/>